

科目名		授業形態	担当教員名	
リハビリテーション概論		講義	淡路 大致・堂脇 ゆかり・石井 喜代香 藤田 愛・松本 かづよ・藤本 伸一	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
この講義では、「リハビリテーションとは何か？」というテーマに沿って、その歴史、目的、理念、思想、障がいと健康について学ぶ。目的の実現のためには「チームで行う」ことが多いため、他職種の専門性と連携について学び、チームの中での作業療法士の役割について考える。また、障がいのある方を招いて障がいと共に生活してきた経験・心理面での変化や障がい者スポーツとの関わりについて講演していただき、障がいと共に生きるとはどういうことかを理解する。				
授業の到達目標				
1. リハビリテーションの理念や定義を正しく述べるができる。 5. 対象者の情報を整理することができる。 2. 各専門職の役割について述べるができる。 3. 障がい者の心理的特徴を述べるができる。 4. リカバリー・エンパワメントの定義を述べるができる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション・リハビリテーションとは？ その概念・理念・定義			
2	疾病と障害構造			
3	リハビリテーションの実際①			
4	リハビリテーションの実際②			
5	チームアプローチとは			
6	インフォームドコンセント・障害者の心理			
7	リカバリー・エンパワメント			
8	ICFについて			
9	理学療法士について（堂脇）			
10	言語聴覚療法士について（石井）			
11	訪問看護について（藤田）			
12	精神保健福祉士について（松本）			
13	障がいのある方を招いての講演①（藤本）			
14	障がいのある方を招いての講演②（藤本）			
15	講演から障害者の生活を考える			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%	到達目標の達成度により評価する。		
レポート	30%	各専門職や特別講義後のレポート課題で評価する。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
セラピストのための概説リハビリテーション	島田智明	文光堂		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				
授業予定が前後することがある。変更の場合は書面にて通達する。 教科書を読む等の予習をしっかりと行うこと。また、グループワーク、発表には積極的に参加すること。				